

## ご挨拶

本校は、明治6年「光猷舎」として創立され、明治22年には「山中尋常小学校」、そして昭和22年には「三原市立中之町小学校」と改称し、現在に至るといふ、この地で脈々と歴史を重ねてきている学校です。まさに「地域とともにある学校」として、地域の皆様に温かく見守られ、ご支援をいただきながら、令和4年に創立150周年を迎えました。

本校の学校教育目標は、

『三愛』～「学びあい 思いあい 高めあいのできる児童の育成」です。

教職員はもとより、全校児童にもこの『三愛』（学びあい 思いあい 高めあい）が浸透しており、日々、この校訓ともいえる言葉を合言葉にして教育活動に取り組んでいます。

また、本年度は研究主題を「主体的・対話的で深い学びによる確かな学力の定着を目指した算数科の授業づくり～UDLの視点を取り入れた授業改善で学びのエキスパートを育てる～」とし、「UDLの視点を取り入れた算数科授業をファシリテートすれば、数学的見方・考え方ができる学びのエキスパートを育てることができるであろう。」という仮説のもと、学習者の視点に立って学びの障壁を取り除き、選択と自己決定の場を保障することで、生涯にわたって自ら学びを深めていける学びのエキスパートとして児童を育てていく教育に取り組んでおります。児童がやる気と確かな目的意識をもち、様々な媒体や学習リソースを活用しながら学び続ける力を、着実に育てていきたいと考えています。

保護者の皆様、地域の皆様には、平素より本校教育に多大なるご理解とご協力を賜り、まことにありがとうございます。今後も地域の教育力、教育資源を最大限に活用しながら、「地域とともにある学校」として歴史と伝統を大切にしたい教育活動を進めて参ります。

どうか、これまで同様、温かいご支援とご協力をいただきますようお願い申し上げます、ご挨拶といたします。

令和8年4月吉日

三原市立中之町小学校長

石川 智章